

平成30年賛助会員 平成30年1月1日～平成30年7月31日

賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助
宮崎照子 様	2口	飯田 藤治 様	2口	宮崎 正 様	2口	森山英隆 様	1口
森川 清 様	2口	森山喜代子 様	1口	サンヨーホーム様	法人2口	泉本寿一 様	2口
深谷和弘 様	1口	谷岡憲隆 様	2口	伊藤楽器 様	法人1口	水戸SE 様	法人3.5口
村岡悦子 様	2口	森 一 様	1口	三浦はるか 様	1口	柳原健児 様	2口
高橋尚子 様	1口	柿本 譲 様	1口	大井田邦子 様	1口	小澤 均 様	1口
興津朋子 様	1口	椎名祐美子 様	1口	◆笹森楽譜 様	16口	牧野英一 様	2口
岡村道枝 様	10口	高橋昭五 様	4口	鈴木貞子 様	1口	吉澤和夫 様	1口
榎本弘子 様	1口	アサノフ ルハ 様	法人1口	丸林実千代 様	2口	清水玲子 様	2口
成島 弘 様	8口	大森幹男 様	2口	佐藤由梨子 様	1口	藤田東吾 様	1口
杉崎俊方 様	1口						

皆さま、ご協力ありがとうございます。(◆)笹森先生の遺言により、先生の編曲物を特価で各団に配布しています。そのお金をご遺族のご容謝のもと、賛助会に寄贈するものです。



投稿1「セピア色の思い出」



みんなの広場

ドシドシ投稿ください。

一言つぶやきも歓迎♪

昭和26年にお寺の住職が創立した幼稚園が自宅の近くにあります。その幼稚園の最初の入園児の私は、幼稚園が終わった後、外部の指導者により開設された「オルガン」と「タンダバハ」の教室の両方のレッスンを受ける事になりました。幼稚園の発表会で、ドレスや着物を着て5人で踊る写真の添え書きに、父の筆跡でタンダバハと書いてあるのです。タンダバハとは・・・タンダバハという言葉が発してもキョトンとされるばかりで、長い間口にすることはありませんでした。この度調べてみました。タンダバハとは、インドの古い言葉で“音楽・舞踊の神様”という意味です。東京・神奈川を中心にタンダバハ舞踊研究所として1926年創設。児童舞踊教育として童謡舞踊（児童舞踊の原点）・詩（言葉）・音楽（リズム）身体の動きを一つに、三位一体を主張した教育でした。タンダバハ創作舞踊から大人のモダンダンスと広げ、幼児教育・国際交流・など多義に渡り、いくつもの賞を受賞。創設者から親子三代活躍続けています。タンダバハは、短い間のお稽古事でしたが、言葉の意味を感じながらアルバムを広げ、懐かしく思い浮かべています。オルガン教室は、卒園後ピアノの個人レッスンを受ける事になり、入学した横須賀市立公郷小では、音楽の先生指導のもとピアノ・オルガン・バイオリン・打楽器など12名ほどの編成で合奏サークルが結成され、私はピアノ＆オルガンパートとしてメンバーに入る事になりました。当時ラジオ東京で放送されていた“子供音楽コンクール”の神奈川大会が県立音楽堂で開催され、そのサークルは、合奏の部で参加し、優勝して昭和32年日比谷公会堂で開催された関東決勝大会に出演し、参加賞としてアルバムを頂きました。今では宝物です。

あれから何・何・何十年たったでしょう。2000年にヤマハ横浜でシニアアンサンブル教室が開設されたチラシを子供達に見せられ、勧められ、遠い昔の思い出と老後の楽しみが重なり、ピアノを調律して応募しました。が、私のピアノは全く通用しませんでした。そこで、初めてキーボードに触れ、2002年、指導者のアドバイスを受け横須賀に“スルーザヨコスカ”を立ち上げました。沢山の方々に楽しい老後を頂いています。 清水玲子

🎵 編集後記 🎵

9月号より編集長を指名されましたスルーザヨコスカの清水と申します。何分不慣れでございますが、岡村理事長、宮崎様のアドバイスを受けながらご期待に添えるよう心の“ひびきあい”を基に、皆様とご一緒に奏でる、紙面作りを考えて参ります。第2回の楽器別交歓会は多くの方々のご賛同を頂き、計画どおりに進んでおります。全シ連加盟団体も30団体になりまして、活力に満ち溢れております。この度の寄稿にご協力頂きました皆様に、厚く御礼申し上げます共に、今後ともよろしくお願いいたします。（編集長：清水玲子）